

プログラム
番号

〈演題名〉ePosterシステムへ登録する ポスターデータ仕様に関するご案内

所属機関 演者名



トラブルシューティング

保存されたPDFを拡大して、画像が極端に荒い場合、以下の項目を確認します。

- ・「ファイル」メニューから「オプション」を選択、「詳細設定」の「イメージのサイズと画質」で、「規定の解像度の設定」を大きい値にします（図4）。
- ・PDFプリンタドライバでPDFファイルを作成する場合、印刷レイアウトで「高品質」にチェックが入っていることを確認します（図5）。

仕様

PortableDocumentFormat (PDF)形式、幅132.8 cm × 高さ74.7 cmの1ページとします。
静止画のみとなり、アニメーション効果と音声には対応しません。
ファイルサイズ50 MB 以下として、フォントは埋め込むようにしてください。



ファイル出力方法

ポスターデータ作成後、「ファイル」メニューから「名前をつけて保存」を選択し、「ファイルの種類」を「PDF」にします（図2）。

また、「オプション」の「フォントの埋め込みが不可能な場合はテキストをビットマップに変換する」、または「(PDF/A)」のいずれかにチェックが入っていることを確認し、保存します（図3）。



図2

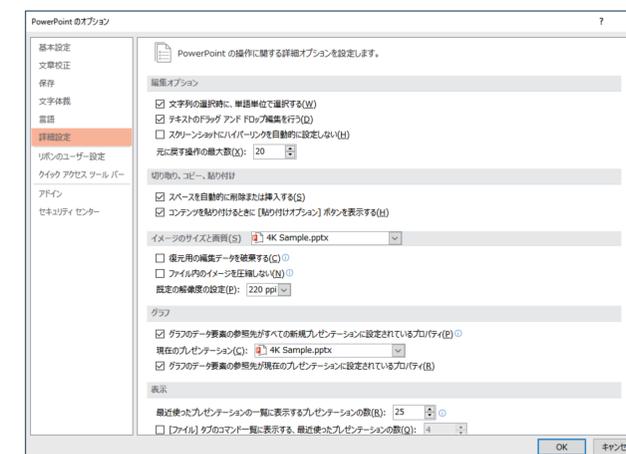


図4

作成方法 (Windows PowerPoint2013の場合)

「デザイン」タブの「スライドのサイズ」から「ユーザー設定のスライドサイズ」を選択します。

「スライドのサイズ指定」で「ユーザー設定」を選択し、幅と高さをそれぞれ以下の値に設定します（図1）。

〔幅：132.8 cm〕 〔高さ：74.7 cm〕

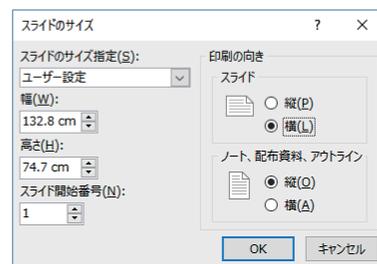


図1

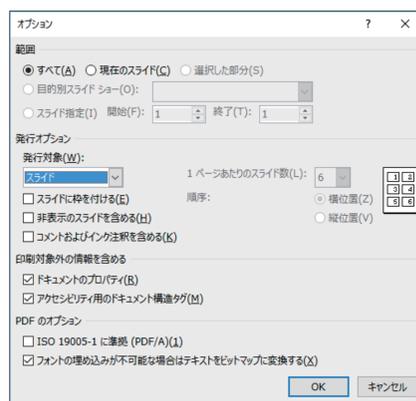


図3



図5

本郷の何處とやら、丸山か片町か、柳さくら垣根つゞきの物しづかなる處に、廣からねども清げに住なしたる宿あり、當主は瀬川與之助とて、こぞの秋山の手の去る法學校を卒業して、今は其處の出版部とやら編輯局とやらに、月給なにほど成るらん、靜かに青雲の曉をまつらしき身の上、五十を過ぎし母のお近と、お新と呼ぶ従妹いとこの與之助には六歳おとりにて十八ばかりにや、おさなきに二夕親なくなりて哀れの身一つを此處にやしなはるゝ、此三人ぐらし成けり、筒井づゝの昔しもふるけれど、振わけ髪を兄の様に思ひて、心やすく嬉しき後ろだてと頼み、よし風ふかば吹け波たゝばたて與之様おはしますほどはと據りかゝれる心の憐れに可愛く、此罪なく美つくしき人をおきて、いさゝかも他處に移る心のあらんは我れながら宜からぬ業と、與之助が胸に思ふことあり、八歳の年より手鹽にかけたれば、我れよりもはあらねどお近とても憎くはあらで、同じくは願ひのまゝに取むすびて、二人が嬉しき笑顔を見、二人が嬉しき素振を眺め、我れも嬉しき一人に成りて、すべての願ひ、望み、年來としごろむねに描きし影を夢なりけりと斷念おもひきり、幾ほどもなき老らくの末を、斯くて此まゝ

本郷の何處とやら、丸山か片町か、柳さくら垣根つゞきの物しづかなる處に、廣からねども清げに住なしたる宿あり、當主は瀬川與之助とて、こぞの秋山の手の去る法學校を卒業して、今は其處の出版部とやら編輯局とやらに、月給なにほど成るらん、靜かに青雲の曉をまつらしき身の上、五十を過ぎし母のお近と、お新と呼ぶ従妹いとこの與之助には六歳おとりにて十八ばかりにや、おさなきに二夕親なくなりて哀れの身一つを此處にやしなはるゝ、此三人ぐらし成けり、筒井づゝの昔しもふるけれど、振わけ髪

本郷の何處とやら、丸山か片町か、柳さくら垣根つゞきの物しづかなる處に、廣からねども清げに住なしたる宿あり、當主は瀬川與之助とて、こぞの秋山の手の去る法學校を卒業して、今は其處の出版部とやら編輯局とやらに、月給なにほど成るらん、靜かに青雲の曉をまつらしき身の上、五十を過ぎし母のお近と、お新と呼ぶ従妹いとこの與之助には六歳おとりにて十八ばかりにや、おさなきに二夕親なくなりて哀れの身一つを此處にやしなはるゝ、此三人ぐらし成けり、筒井づゝの昔しもふるけれど、振わけ髪

本郷の何處とやら、丸山か片町か、柳さくら垣根つゞきの物しづかなる處に、廣からねども清げに住なしたる宿あり、當主は瀬川與之助とて、こぞの秋山の手の去る法學校を卒業して、今は其處の出版部とやら編輯局とやらに、月給なにほど成るらん、靜かに青雲の曉をまつらしき身の上、五十を過ぎし母のお近と、お新と呼ぶ従妹いとこの與之助には六歳おとりにて十八ばかりにや、おさなきに二夕親なくなりて哀れの身一つを此處にやしなはるゝ、此三人ぐらし成けり、筒井づゝの昔しもふるけれど、振わけ髪

本郷の何處とやら、丸山か片町か、柳さくら垣根つゞきの物しづかなる處に、廣からねども清げに住なしたる宿あり、當主は瀬川與之助とて、こぞの秋山の手の去る法學校を卒業して、今は其處の出版部とやら編輯局とやらに、月給なにほど成るらん、靜かに青雲の曉をまつらしき身の上、五十を過ぎし母のお近と、お新と呼ぶ従妹いとこの與之助には六歳おとりにて十八ばかりにや、おさなきに二夕親なくなりて哀れの身一つを此處にやしなはるゝ、此三人ぐらし成けり、筒井づゝの昔しもふるけれど、振わけ髪

本郷の何處とやら、丸山か片町か、柳さくら垣根つゞきの物しづかなる處に、廣からねども清げに住なしたる宿あり、當主は瀬川與之助とて、こぞの秋山の手の去る法學校を卒業して、今は其處の出版部とやら編輯局とやらに、月給なにほど成るらん、靜かに青雲の曉をまつらしき身の上、五十を過ぎし母のお近と、お新と呼ぶ従妹いとこの與之助には六歳おとりにて十八ばかりにや、おさなきに二夕親なくなりて哀れの身一つを此處にやしなはるゝ、此三人ぐらし成けり、筒井づゝの昔しもふるけれど、振わけ髪